

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 7名回答、回答率 100%  
保護者様： 16名回答、回答率 80%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・パーティションで活動と学習のスペースを仕切り、安全面に配慮している。
- ・クールダウンや個別対応のスペースは充分とは言えない。

### ○業務改善

- ・送迎前のミーティングで何か問題があれば話し合っって対応している。
- ・業務前に職員全体のミーティングを行っているが、職員全体での共有が難しい場合は、スタッフノートでの共有や、児童のいない時間に対話をする等で共通理解を深めている。

### ○適切な支援の提供

- ・毎日のミーティングで、児童一人ひとりの個別目標、個別課題を確認して共有を図っている。
- ・集団療育活動の内容は毎月のテーマに沿って、利用日数にも配慮しながら計画している。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・市の連絡協議会や研修等には積極的に参加している。
- ・ご家庭・学校・スマートキッズで一貫した支援を行えるよう、学校お迎え時や学校公開を利用して担任の先生等から学校での様子等をお話できる機会を増やしていきたい。
- ・保護者とは面談や送迎時の会話を通じて児童の情報の共有を図っている。
- ・相談支援事業所とも情報共有、連携を強化したい。

### ○保護者への説明責任等

- ・ニュースレターを通じて前月の活動の様子と次月の集団療育活動内容をお知らせしている。
- ・年2回保護者会を開催し、活動内容や児童の様子を伝えている。
- ・契約の際には重要事項や個人情報の取り扱いについて説明を行っている。

### ○非常時等の対応

- ・毎月、地震、火災等、内容を変えながら、避難訓練を実施している。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

- ・活動スペースは十分に「確保されている」と「確保されているとは言えない」とほぼ半々の御回答をいただいた。空間の使い方を工夫していきたい。

### ○適切な支援の提供

- ・要望や課題を踏まえて個別支援計画が作成されている。
- ・活動プログラムの内容は工夫されている。
- ・「放課後の児童クラブや児童館、障害のない子どもとの交流がない」や、「他団体や障害のない子どもとの交流は望んでいない。」という意見もあった。
- ・いろいろな経験(お買い物など)をさせてほしいとの意見があった。

### ○保護者への説明等

- ・利用契約や利用者負担、日々の支援状況の共有は、保護者様全員に「満足」をいただいた。
- ・サービス提供記録や送迎時、個別面談等で日頃の教室での様子を伝えてくれたり、相談にものってもらっている。
- ・保護者会や参観等で保護者同士の連携は支援されているが、不十分であるとも感じる。
- ・苦情については速やかに適切に対応している。
- ・ニュースレターからも活動の様子が分かる。
- ・個人情報にも配慮がされている。

### ○非常時等の対応

- ・毎月、避難訓練が実施されている。

### ○満足度

- ・「子どもは通所を楽しみにしているか」「事業所の支援に満足しているか」の2項目で「はい」の回答をいただけた。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

- ・集団療育活動や個別課題に有用な教材作りを計画的に進めていく。
- ・虐待防止およびリスクマネジメント等の教室内研修の充実を図る。
- ・保護者会の出席率が上がるように、実施内容を検討していく。
- ・学校公開等関連機関のイベントに積極的に参加する。
- ・避難場所及び避難経路についての保護者への緊急時対応を保護者会を通じて周知する。
- ・行政の連絡会および外部研修、講習など、外部との情報共有の機会を増やしていく

### ○改善できた点・まだ残る課題

- ・日程を分けることで保護者会の参加率が向上した。
- ・集団療育を実施する際は、本部の臨床心理士と連携・相談しながら、発達段階に応じた専門的なアプローチができた。



## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・ほとんどの保護者の方が、集団療育活動の内容や支援内容に満足していただけている。
- ・児童は教室に来ることを楽しみにしている。
- ・毎日のミーティングはもちろんのこと、児童のいない時間も支援について話し合いを行い、共通理解を深めている。

### ○改善点

- ・保護者同士の連携の支援。
- ・非常勤スタッフや応援スタッフも含め、情報の共有を徹底化する。



## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・教室運営全般について、どの職員も理解し易い仕組みを構築する。
- ・外部および教室内研修によって職員のスキルアップを図る。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・計画的に集団療育活動や個別課題に有用な教材作りを進めていく。
- ・虐待防止およびリスクマネジメント等の教室内研修の充実を図る。
- ・保護者会の出席率が上がるように、実施内容を検討していく。
- ・学校公開等関連機関のイベントに積極的に参加する。
- ・避難場所及び避難経路についての保護者への緊急時対応を保護者会を通じて周知する。
- ・行政の連絡会および外部研修、講習など、外部との情報の共有の機会を増やしていく。

スマートキッズ